

令和7年度 第1回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 次第

日時 令和7年8月2日(土)

午前11時～正午

場所 益富交流館 中会議室

1 あいさつ

頁

2 報告事項

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 五ヶ丘地区の教育環境に関するこれまでの検討経緯について | 別紙 |
| (2) 寄せられた御意見等の状況について | 別紙 |

3 協議事項

- | | |
|-------------------------------------|---|
| (1) 会長及び副会長の選任について | 1 |
| (2) 五ヶ丘地区の教育環境の検討について | 3 |
| (3) 五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップの検討について | 4 |
| (4) 五ヶ丘まちづくりワークショップへの参加について | 5 |

4 今後の協議会日程(予定)

第2回 令和7年 9月28日(日) 午後 2時～

※まちづくりワークショップへの参加と兼ねる

第3回 令和7年11月15日(土) 午前10時～

第4回 令和8年 1月18日(日) 午後 3時～

※いずれも場所は益富交流館

五ヶ丘地区教育環境検討協議会の設置及び運営について

五ヶ丘地区教育環境検討協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を以下のように定める。

- 1 協議会の役割は、次に掲げるとおりとする。
 - （１）五ヶ丘小学校区及び五ヶ丘東小学校区（以下、「両小学校区」という。）の将来に向けた子どもたちの教育環境について協議すること。
 - （２）前号を踏まえ、両小学校の再編の必要性について検討すること。
- 2 協議会の委員数は１５名以内とし、委員は保護者の代表者、地域の代表者から教育委員会が委嘱する。
- 3 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。
 - （１）会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
 - （２）副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 4 協議会は、会長が招集する。会長は、必要があると認められるときは、委員以外の者の出席を求めて、意見若しくは説明を聴き、又は、これらの者から必要な資料の提出を求めることができる。
- 5 協議会の会議は原則公開とする。ただし、会長は、会議の内容が個人的な問題に及ぶなど、非公開が適当と判断した場合は、傍聴人を退席させ、会議を一時的に非公開とすることができる。また、傍聴人は、次に掲げる事項を守らなければならない。
 - （１）みだりに傍聴席を離れないこと。
 - （２）会議の発言に対して拍手その他の方法により公然と賛否を表明しないこと。
 - （３）談論、放歌、高笑等を慎むこと。
 - （４）はち巻や腕章の類をする等示威的行為をしないこと。
 - （５）飲食又は喫煙をしないこと。
 - （６）前各号に定めるもののほか、会議の妨害となるような行為をしないこと。
 - （７）その他会長の指示に従うこと。
- 6 協議会の会議録は要点表記とし、協議会の承認を得て、一般の求めに応じて閲覧に供するとともに、市のホームページに掲載する。
- 7 その他必要なことは、協議会で協議して決定する。

附則

この要綱は、令和６年６月２１日から施行する。

附則

この要綱は、令和７年８月２日から施行する。

五ヶ丘地区の教育環境の検討について

1 令和7年度の進め方

令和6年度に引き続き、五ヶ丘地区教育環境検討協議会を設置し、住民とのさらなる情報共有やディスカッションを重ね、再編の方針決定の足掛かりをつくる。

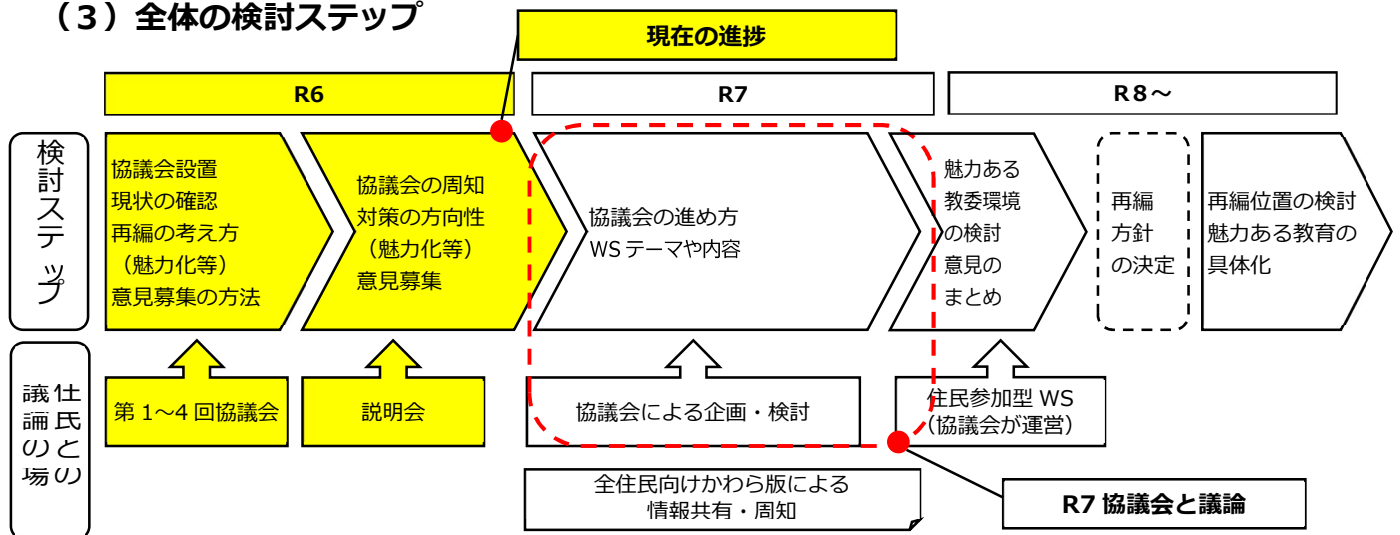
(1) 令和7年度中に目指す姿

- ・テーマ別のワークショップなど住民や保護者とのディスカッションの場を企画・検討し、令和8年度以降の実施に向けた準備が完了している。

(2) 協議会における主な検討内容

- ・五ヶ丘地区の魅力ある教育環境に関する住民参加型WSの企画調整
- ・五ヶ丘まちづくりワークショップ第3回「子育て・教育」への参加
- ・寄せられた住民意見等の確認・共有

(3) 全体の検討ステップ



(4) 検討のポイント

前向きな議論と情報周知の強化の両面で着実な推進を図る。

ポイント1 五ヶ丘まちづくりワークショップ第3回「子育て・教育」への参加

- ・住民参加型ワークショップのキックオフとして、9月28日に開催予定の五ヶ丘まちづくりワークショップに参加する。

ポイント2 住民参加型ワークショップの企画・検討

- ・住民参加で意見交換する機会を増やしていく。
 - ・協議会はワークショップの運営側として位置付ける（意見交換にも参加）
 - ・ワークショップはテーマ別で6～8回程度で、協議会で検討し決定する。
- 想定するテーマ（例）：先進事例から考える五ヶ丘にあった教育（ソフト・ハード）
地域で支え・学び合う学校に向けてできること など

ポイント3 かわら版の発行・配布

- ・協議会・ワークショップの内容などについて、広く情報共有・周知を図る。

(5) 今後の予定

9月28日（日）	五ヶ丘まちづくりワークショップ「子育て・教育」
----------	-------------------------

五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップの検討について

1 魅力ある教育環境の検討にワークショップを導入する意義

- ・ 一方的に情報を伝えられるのではなく、参加者一人ひとりが意見を出し合い、議論することで、学校再編の検討プロセスに主体的に関与してもらうことができる。
- ・ 異なる立場や考えを持つ人々が集まり、互いの意見を理解し合うことで、学校再編に対する不安や疑問を解消し、共通認識を形成することができる。
- ・ 既存の枠にとらわれない新しい学校のあり方や、再編によって生み出せる新たな可能性を発見することができ、具体的な議論を通じて、より良い学校のイメージを共有することができる。

2 ワークショップの企画における検討事項

(1) グループ人数と規模(案) 5名 × 8グループ 計40名

視点：グループの中で全員がしっかりと発言し、動的に参画することができる人数
グループワーク後の共有（発表）が可能なグループ数

(2) 実施回数 協議したテーマ別で6回程度

(3) 実施時期 令和7年度末から令和8年度 月1回程度

(4) 対象者 五ヶ丘地区のどなたでも ※テーマによって児童の参加も検討

(5) テーマ設定 **協議事項**

テーマ設定は、参加者の多様な意見を引き出し、学校の未来を形作る上で非常に重要です。テーマ設定の際には、参加者が共感でき、活発な意見交換を促すような、自由度がありながら具体的なものを心がける必要があります。

<テーマ設定のポイント>

○現状の課題と将来のビジョンを組み合わせる

「学校の課題」と「将来の理想の学校像」の両方をテーマに含めることで、現状認識と未来への展望をバランスよく議論できます。

○多様な視点を取り入れる：

児童、保護者、地域住民など、様々な立場からの意見を反映できるよう、テーマ設定の段階から多様な視点を取り入れることが重要です。

○ワクワクするようなテーマ設定

「こんな学校に通ってみたい」「こんな学校を創りたい」といった、参加者の好奇心や創造性を刺激するようなテーマ設定が大切です。

<テーマの一例>

「これからの子どもたちに必要な資質・能力」

「五ヶ丘小学校と五ヶ丘東小学校のそれぞれの特徴や違い」

「五ヶ丘地区の特徴から考える特色ある教育」

「地域資源（ヒト・モノ・コト）と学校の連携」

「子どもたちが『行きたい』『学びたい』と思える居心地の学校とは」

五ヶ丘まちづくりワークショップへの参加について

1 ワークショップの概要

- 日時 9月28日(日) 午後2時～4時
- 会場 益富交流館多目的ホール
- 内容 五ヶ丘の「子育て・教育」について

2 ワークショップの趣旨・目的

- 学校に限らず「五ヶ丘地区全体の子育て・教育」の将来像についてグループワークを実施することで、地域全体で子どもを育てる環境について考える。

3 協議会としてワークショップに参加する目的

- まちづくりの広い視点での意見を踏まえ、さらに踏み込んだ議論として、その後の学校再編のワークショップの議論に生かしていくため。
- 中学生を含めた、様々な考えや立場の方との意見を直接聞くワークショップの手法や効果的な運営について、参考として学ぶため。

<参考> 五ヶ丘まちづくりワークショップの年間スケジュール

	日時	内容	会場
ワークショップ	第1回	7月19日(土) 14:00～16:00 オリエンテーション ・趣旨、スケジュール説明 ・住民アンケート結果報告 ・他市事例紹介	益富交流館 大会議室
	第2回	8月24日(日) 10:00～12:00 五ヶ丘の「暮らし・交通」について ・市の現状、他市の事例紹介 ・グループワーク	益富交流館 多目的ホール
	第3回	9月28日(日) 14:00～16:00 五ヶ丘の「子育て・教育」について ・市の現状、他市の事例紹介 ・グループワーク(中学生の参加を予定)	益富交流館 多目的ホール
	第4回	10月26日(日) 14:00～16:00 五ヶ丘の「医療・福祉」について ・市の現状、他市の事例紹介 ・グループワーク	益富交流館 多目的ホール
	第5回	11月29日(土) 14:00～16:00 五ヶ丘の将来像を考える① ・これまでの振り返りと将来像(案)の確認 ・将来像(案)を実現するためにできることを考える	益富交流館 多目的ホール
	第6回	12月14日(日) 10:00～12:00 五ヶ丘の将来像を考える② ・これまでの振り返りと将来像(案)の確定 ・検討結果報告会に向けた準備	益富交流館 多目的ホール
住民説明会	2月7日(土) 14:00～16:00	ワークショップでの検討結果報告会 ・検討した「将来像」を参加者以外の住民に向けて発表 ・質疑応答	五ヶ丘東小学校 体育館

1 令和6年度の検討状況

五ヶ丘地区教育環境検討協議会を設置し、協議会（4回）や住民向け説明会を実施し、委員や住民との対話をおこなった。

(1) 主な経過

令和6年6月～ 令和7年3月	「五ヶ丘地区教育環境検討協議会」の設置 構成：PTA 役員、こども園等保護者の会役員、区長（13名） 第1回（6月）：協議会の運営方法や進め方について協議 住民向け説明会、全世帯アンケートの実施の意見有 第2回（8月）：住民向け説明会及びアンケート案について協議 第3回（11月）：意見集約の場として改めて説明会の実施を調整 第4回（1月）：住民向け説明会実施について、概ね了承 住民向け説明会（3月）：協議会主催で実施 参加者 61 名、当日質疑 8 名、アンケート回収数 56 件、意見総数 116 件
-------------------	--

(2) 協議状況（主な意見）

協議会委員	・ 今だけでなく、将来を見据えて学校再編を考える必要がある ・ 規模の適正化だけでなく、再編を契機として新しい魅力ある五ヶ丘の学校にしていきたい ・ 協議会のメンバー以外の思いや不安を聞いて決めていきたい ・ まち全体の活性化の視点で新しい学校や再編後の跡地の在り方を考えていきたい												
住民向け説明会	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な分類と件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力ある学校づくりに関する意見</td><td>44 件</td></tr> <tr> <td>進め方に関する意見</td><td>46 件</td></tr> <tr> <td>再編（統合）に関する意見</td><td>20 件</td></tr> <tr> <td>まちづくりに関する意見</td><td>6 件</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>116 件</td></tr> </tbody> </table> ・ 人数が増える事、クラス替えの機会がある事で、子どもたちに色々なきっかけを与えてあげたい。 ・ 統合しても2クラスにはならず、クラスの人数が増えて教員の負担が増えるのではないかと。子どもたちのメンタルケアや、トラブルなど不安がある。 ・ もっとスピード感を持って再編を進めて欲しい。新しい学校の内容などは、統合してから考えて良いと思う。 ・ 賛成・反対の意見を聞かずに進めることは疑問。再編ありきで進めているように感じる。具体的にどうなるのかがわからないため、今後また話を聞きたい。	主な分類と件数		魅力ある学校づくりに関する意見	44 件	進め方に関する意見	46 件	再編（統合）に関する意見	20 件	まちづくりに関する意見	6 件	合計	116 件
主な分類と件数													
魅力ある学校づくりに関する意見	44 件												
進め方に関する意見	46 件												
再編（統合）に関する意見	20 件												
まちづくりに関する意見	6 件												
合計	116 件												



五ヶ丘地区の教育環境に関する説明会

みんなでつくる 子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

日時 令和7年3月9日（日）午後3時～4時

場所 益富交流館多目的ホール

五ヶ丘地区教育環境検討協議会

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

1

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 皆さんの声をお聞かせください

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

2

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 皆さんの声をお聞かせください

主催者あいさつ

五ヶ丘教育環境検討協議会 小谷会長

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 皆さんの声をお聞かせください

児童数の状況

※左列がクラス数、右列が児童数
 (H16のみ各学年の児童数に特別支援学級児童数を含む)
 ※校区内の出生数から算出(転入・転出は含まない)
 ※特別支援学級は、将来予測が困難なため、当該年度の児童数・クラスが引き続き維持するものとして推計

五ヶ丘	年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計		特支		合計	
	H16	1	26	1	37	1	28	2	42	2	41	2	66	10	240			10	240
	R6	1	21	1	31	1	22	1	33	1	22	1	26	6	155	2	6	8	161
	R7	1	21	1	21	1	31	1	22	1	33	1	22	6	150	2	6	8	156
	R8	1	23	1	21	1	21	1	31	1	22	1	33	6	151	2	6	8	157
	R9	1	18	1	23	1	21	1	21	1	31	1	22	6	136	2	6	8	142
	R10	1	14	1	18	1	23	1	21	1	21	1	31	6	128	2	6	8	134
	R11	1	17	1	14	1	18	1	23	1	21	1	21	6	114	2	6	8	120
	R12	1	11	1	17	1	14	1	18	1	23	1	21	6	104	2	6	8	110

過去20年で
33%減

今後6年で
32%減

五ヶ丘東	年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計	特支		合計		
	H16	1	18	1	29	1	20	1	38	2	41	2	56	8	202		8	202	
	R6	1	23	1	17	1	18	1	19	1	17	1	14	6	108	1	1	7	109
	R7	1	14	1	23	1	17	1	18	1	19	1	17	6	108	1	1	7	109
	R8	1	24	1	14	1	23	1	17	1	18	1	19	6	115	1	1	7	116
	R9	1	24	1	24	1	14	1	23	1	17	1	18	6	120	1	1	7	121
	R10	1	30	1	24	1	24	1	14	1	23	1	17	6	132	1	1	7	133
	R11	1	8	1	30	1	24	1	24	1	14	1	23	6	123	1	1	7	124
	R12	1	11	1	8	1	30	1	24	1	24	1	14	6	111	1	1	7	112

過去20年で
46%減

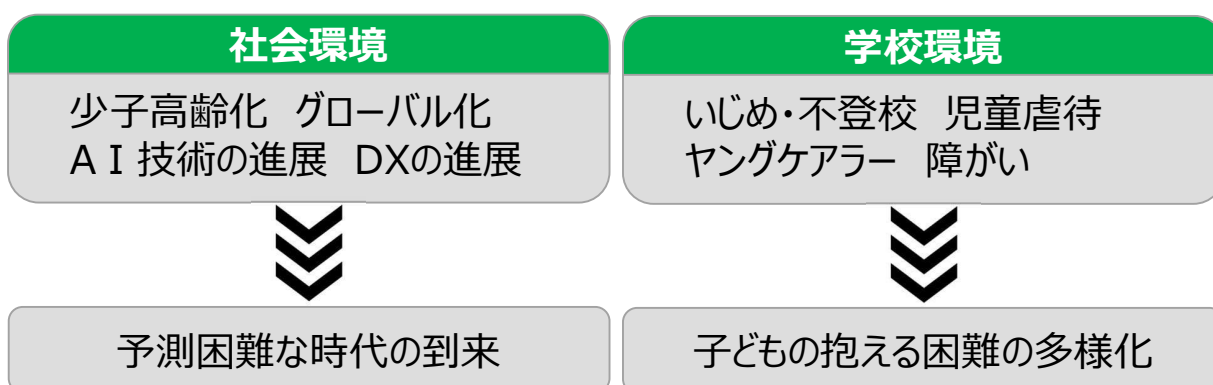
5年後には
1桁の学級が

- ▶ 行事やイベントができない…
- ▶ クラス替えができない…
- ▶ 色々な意見や考えに触れる機会が少ない…

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 皆さんの声をお聞かせください

子どもたちが生きるこれからの社会



▶ 子どもたちはこれから
すぐに答えの出ない課題に直面していく

育みたい子どもたちの姿とめざすべき教育環境

持続可能な社会の創り手の育成

主体性 リーダーシップ
創造力 課題発見・解決力
論理的思考力
表現力 チームワーク

ウェルビーイング※の向上

幸福感 学校や地域でのつながり
利他性 協働性 自己肯定感
自己実現

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。
短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

(参考) 第4期教育振興基本計画(国)



育みたい子どもたちの姿



▶ **子どもがミライを生き抜く力を養い
自己肯定感を持っている**

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

9

育みたい子どもたちの姿とめざすべき教育環境

育みたい資質・能力：自己肯定感、課題発見力・解決力、対話力

- このような力を育むためには、学校、家庭、地域など様々なつながりの中で、子どもたちが**実体験を伴う学び**や、**多様な意見や考え方に触れる機会**を増やしていく必要がある。
- 子どもたちにとってよりよい教育環境を実現するためには、**教職員等が働きやすい環境**であることも重要
- 子どもたちが様々な体験・経験ができる場として学校という場を生かしていくことが必要



毎日
楽しい!



めざすべき教育環境



働き
やすい!

▶ **学校に関わる全ての人が幸せを感じられる学校**



子どもたちと
のふれあいで
充実!



みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

10

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足**
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 皆さんの声をお聞かせください

協議会発足までの状況

令和4年11月	五ヶ丘各自治区・大見自治区とPTA・子ども会等により、小学校の在り方についての意見交換会を実施
令和5年3月	五ヶ丘各自治区長・大見自治区長から要望書「五ヶ丘地区の学校再編に関する検討について」を提出
令和5年8月 9月	区長・保護者等との意見交換会を実施 ⇒子どもたちに必要な教育環境について意見交換し、「異学年間の交流」「集団でのコミュニケーション能力」などの意見が見られた
令和5年10月 ～11月	小中学校の教育環境についてのアンケート調査を実施 ※アンケート調査結果は市ホームページでご覧いただけます ＜豊田市ホームページ＞ くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等に対応したより良い教育環境の実現に向けた取組
令和6年6月	五ヶ丘地区教育環境検討協議会 発足

五ヶ丘地区教育環境検討協議会の現状

- 構成 PTA役員、こども園保護者の会役員、区長 計 13 名
- 役割 子どもたちの教育環境について協議し、両小学校区の
意見をまとめ、学校再編の可否等を判断・意見すること

活動状況

- 令和 6 年 6 月～
令和 7 年 1 月に
かけ、4 回にわた
り協議会を実施



現時点の主な意見等

- 今だけでなく、**将来を見据えて**学校再編を
考える必要がある
- 規模の適正化だけでなく、再編を契機として
新しい魅力ある五ヶ丘の学校にしていきたい
- 協議会の**メンバー以外の思いや不安**を
聞いて決めていきたい
- まち全体の活性化の視点**で新しい学校や
再編後の跡地の在り方を考えていきたい

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

13

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 **魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして**
- 6 皆さんの声をお聞かせください

五ヶ丘地区学校再編の基本的な考え方

再編を契機として、

新しい魅力ある五ヶ丘の学校をめざしていこう

<視点>

- 教育内容の充実
- 学校施設・機能の向上

子どもたちの教育環境を第一としながら、

地域の活性化にも目を向けて考えていこう

<視点>

- 「地域とともにある学校」「多様な主体の活動の場」を検討
- 跡地は、五ヶ丘のまちづくりの動きに合わせて、活用を検討

※実際の内容は
皆さんと考えていきます

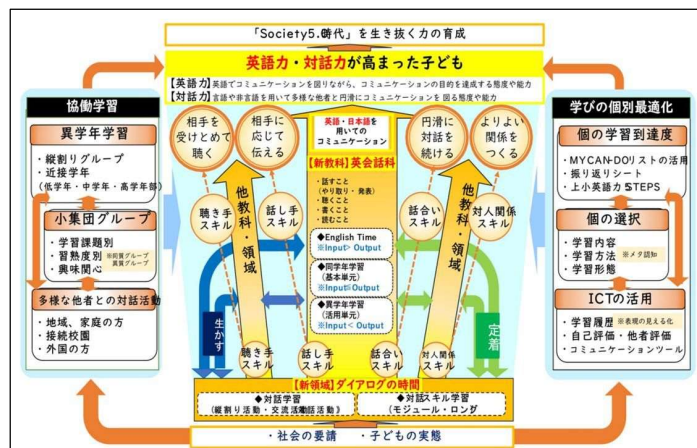
新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

市内初！

地域や学校の特性を生かした魅力的な教育を進めるための新たな教育課程の検討

英語の場合

- グローバル人材育成のモデル校として、英語教育を強化
- 英語を入り口としてコミュニケーション能力や主体性などを伸ばしていく



<他市事例>

福津市立上西郷小学校
「英語力」「対話力」向上に向けた、新教科
「英会話科」、新領域「ダイアログの時間」の
開発（文部科学省HP事例より）

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

市内初！

地域や学校の特性を生かした魅力的な教育を進めるための新たな教育課程の検討

体育の場合

- 愛知県は体力テストの結果が全国より低い。基礎体力向上モデル校として、体育を強化
- たくましく生きるための体力向上を目指し、児童の頑張りを「できる」につなげていく



<他市事例>

いすみ市立東小学校
教科体育において、活動内容の工夫と運動量確保を目指した授業づくりを実施、教科外体育として、業間を利用して、様々な運動にふれる機会を意図的に設定（文部科学省HP事例より）

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

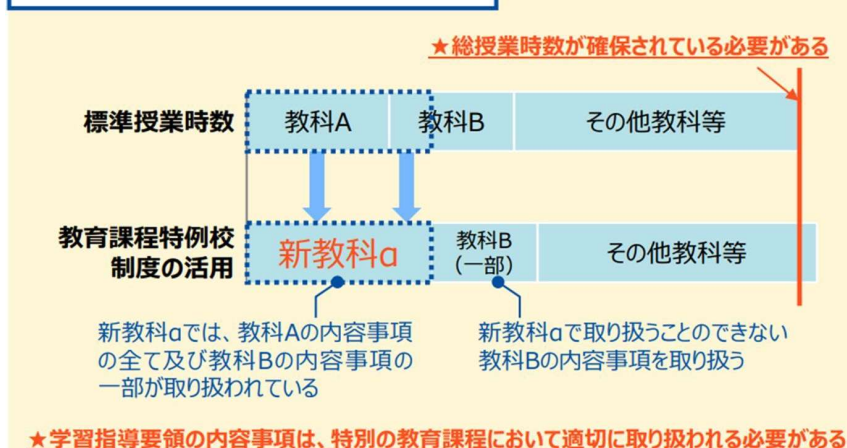
17

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ①

手段の一例…教育課程特例校制度を活用※

※文部科学大臣が、学校教育法施行規則第55条の2等に基づき指定する学校において、学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度

教育課程特例校における授業時数のイメージ



※文部科学省HP資料

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

18

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ②

学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

地域コミュニティ拠点の場合



<他市事例>

鳥取県八頭町 コミュニティ複合施設「隼Lab.」(文部科学省HP事例より)

1 階：カフェやショップ、看護協会、地域福祉組織等が入居し、地域住民に開かれたコミュニティ空間を整備

2・3 階：コワーキングスペースやシェアオフィス等、サテライトオフィスを意識したビジネス空間を設計・整備

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

19

新しい魅力ある五ヶ丘の学校 イメージ②

学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

独自のアフタースクールの場合

- ・学習支援（予習・復習、補充学習・ICTを活用した学習活動など）
- ・体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室、地域探検、農業体験など）
- ・スポーツ活動（野球、サッカー、バドミントン、卓球、一輪車など）



※文部科学省資料より

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

20

「五ヶ丘のまちづくり」について

学校の再編も含めて、五ヶ丘全体でまちづくりの検討が進んでいます。

○五ヶ丘まちづくりミーティング

これからの「五ヶ丘のまちづくり」をみんなで考えていく取組がスタート

- ▶主催 : 五ヶ丘自治区連合会（協力：豊田市）
- ▶開催日 : 令和6年12月14日（土）
- ▶結果概要 : 東京大学大学院教育学研究科牧野教授の講演などを実施
195名が参加し、様々な質疑・意見交換が行われました

○五ヶ丘まちづくりワークショップを開催

- ▶主催 : 五ヶ丘自治区連合会、豊田市（共催）
- ▶開催日 : 令和7年2月1日（土）
- ▶結果概要 : 住民や自治区長など約40名が参加し、今後のまちづくりの協議に向けて、意見集約の手法を学びました

みんなで作る子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

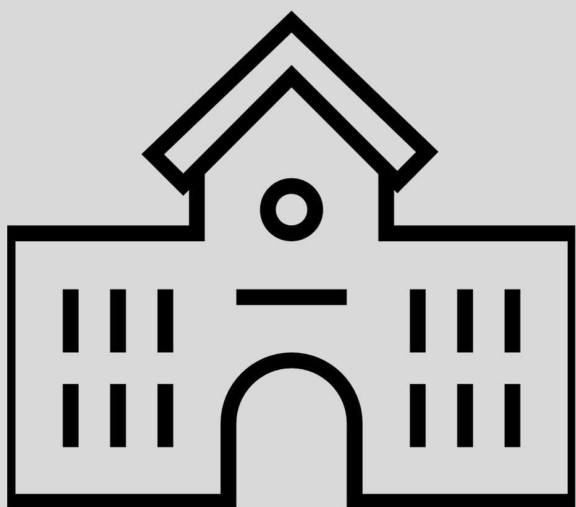
21

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 児童数の状況
- 3 めざすべき教育環境と学校のすがた
- 4 五ヶ丘地区教育環境検討協議会の発足
- 5 魅力ある新しい五ヶ丘の学校をめざして
- 6 **皆さんの声をお聞かせください**

皆さんの声をお聞かせください

- 本日の説明を聞いた皆さんのお考えや不安をお聞かせください。
- よろしければ、お手元のふりかえりアンケートにもご協力ください。
- 本日の説明内容は、後日、市のホームページにも掲載します。
ご参加いただけなかった方のご意見もお寄せください。
ホームページの意見用紙に記入の上、豊田市教育政策課まで
ご提出ください。
- 豊田市教育政策課メールアドレス kyouiku@city.toyota.aichi.jp



ありがとうございました

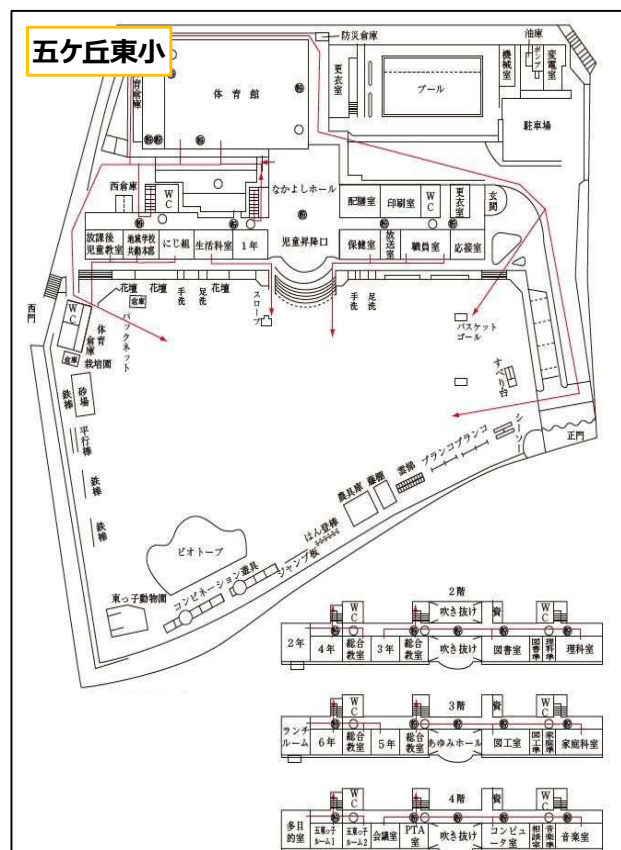
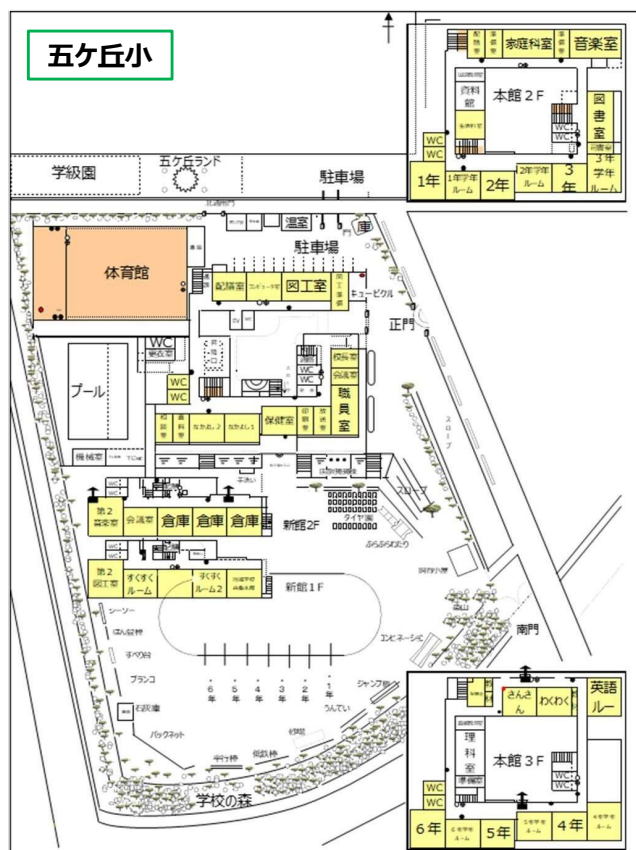
豊田市ホームページに
豊田市の学校再編の取組や
五ヶ丘地区学校再編検討協議会について
掲載しています。

＜豊田市ホームページ＞

くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等
に対応したより良い教育環境の実現に向け
た取組

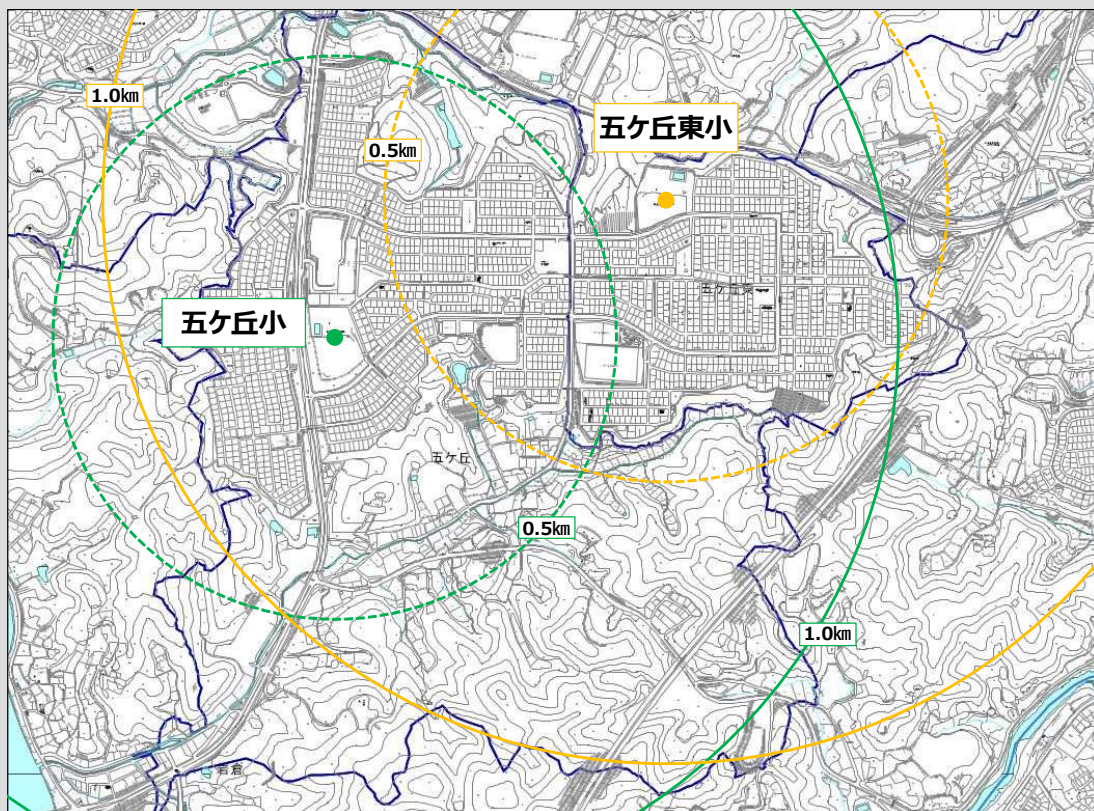
五ヶ丘小学校と五ヶ丘東小学校の概要

		五ヶ丘小学校	五ヶ丘東小学校
建築年		昭和62年	平成 2 年
面積	校舎	5,572㎡	4,945㎡
	運動場	8,722㎡	8,658㎡
児童数		161人	109人
通常学級数		6	6
保有教室数		30	21
放課後 児童クラブ	場所	余裕教室	余裕教室
	登録児童数	38人（夏季49人）	19人（夏季42人）
	定員	78人	38人



みんなで作る子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

27



【凡例】 — 小学校区 円は各小学校からの直線距離

【縮尺】 1 : 10000

通学区域

みんなで作る子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

28

小規模校のメリットとデメリット

(1) 文部科学省の手引きより

メリット (よさ)	デメリット (課題)
○一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい ○意見や感想を発表できる機会が多くなる ○様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる ○異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	○クラス替えが全部又は一部の学年でできない ○クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない ○運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる ○班活動や、球技、合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる ○児童から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる

(参考) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 (平成27年1月策定)

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

29

小規模校のメリットとデメリット

(2) 令和5年度の豊田市アンケートより

メリット (よさ)	デメリット (課題)
○授業中、困ったときに先生がすぐに気づいてくれて、個別に教えてくれる ○日頃から他の学年の子たちと接する機会があり、やさしさや思いやりの気持ちを持てる ○友達がいつも同じで、とても仲良くできる	○いろいろな意見や考えに触れる機会が少ない ○クラス替えがないので、たくさんの友だちをつくることができない ○行事、部活動、委員会、遊びなどいろいろな種類の活動ができない

※中学生、小中保護者、園保護者の回答で多かったもの

みんなでつくる子どもたちと五ヶ丘の新たなミライ

30

寄せられた御意見等の状況について

別紙

大きな分類ごとの集計	
魅力ある学校づくりに関する御意見	44 件
進め方に関する御意見	46 件
再編（統合）に関する御意見	20 件
まちづくりに関する御意見	6 件
合計	116 件

■ 魅力ある学校づくりに関する御意見

御意見の要旨
統合にはデメリットの方が多いと思う。子どもも嫌がっている。少人数にも良さがあり、今の教育で満足している。
1 クラス少人数のため、学習面でのサポートが手厚いと感じている。再編した時に 2 クラス作れなかった時には学年ごとでデメリットの大きい年があると感じる。トラブルがあったとき五ヶ丘全体になると相手の親が分からない不安がある。
子どもも今の友人関係も良く、満足している。
子どもが中心になるよう進めていけるとよい。
固定担任制でないことは、脳科学的にも良いと聞いたことがあり、そういったことまで含めて考えたい。
6 年間クラス替えがないのは不安。学校で担任が 1 人しかいないことも、比較ができず良くない。
1 学級、1 担任制は、担任の力量に左右されすぎており教育環境が良くない。
再編する魅力がわからない。
五ヶ丘地区の人口ピラミッドの維持や、学校嫌いな子のために、機能として遊びの場、学ぶ場、スポーツの場、自分で何かをつくる場が必要だと思う。
統合は児童数からしていたしかたないと思う。市内初のカリキュラムを是非実施してほしい。
資産を有効活用する統合は当然と考える。ぜひ進めていってほしい。今の小学校は小規模で手厚く見てもらっていると思うが、一緒になることで良い効果が生まれると思う。
「知・徳・体」の充実した教育課程は、現在も将来も必要。英語や、体力の向上は大切だが、基礎となる日本人としての言語(日本語)や道徳心の涵養も重要かと思う。
保護者世代がなぜ五ヶ丘に住むことを選択したのか。魅力ある教育環境を実現するための手段が再編なのでは。
新しい小学校に対しても豊田市の限られた予算が本当に五ヶ丘に回るのか信用できない。
統合には賛成だが、魅力ある学校のイメージについて、公立で本当にできるか疑問。
イメージにあるような魅力ある学校が本当に作れるかどうか疑問。子どもが楽しく通えれば良い。
統合後も 1 クラスになる。20～30 人のクラスと 10 人前後の少人数の学校とでメリット・デメリットを考えてほしい。
少人数でクラス替えがないと友人関係でトラブルがあった時に逃げ場がなく、現状少人数でも不登校の子がいる。たくさんの人と関わられるようにしてほしい。35 人以下でなく 25 人以下 1 学級にしてほしい。
クラス替えはあると良い。再編後、20 名 1 クラスとしても良いと思う。
人数が少なくなっているので 1 つの学校になると良い。
子ども達が切磋琢磨できるよう再編は賛成。
人数が増える事、クラス替えの機会がある事で、子ども達に色々なきっかけを与えてあげたい。統合しても少人数であることは変わらないので、少人数のメリットはそのまま活かしていきたい。

年度毎に児童数が減っていく過程で、学校再編は必要と思う。
自分は少人数だからこそ手厚いサポートを受けることができ、良い高校へ行けたし、考え方も広がったのでそのままがいいと思う。
子どもたちと高齢者が交流できる施設があると嬉しい。
現在は空き教室を学年ルームなど便利に活用している部分もあるが、そういったことができなくなる不安がある。
統合するなら、古瀬間小学校を含めた益富地区全体で考え、公立の小中一貫校にしていくべきだと思う。
小学校のみならず、中学校、高校・大学も含めた地域全体の最適化を目指してはどうか。
2つの校舎、メインと新たなカリキュラム用などに作り変え、シャトルバス等で行き来できるようなものにできれば良いのでは。
統合しても、統合しなくても魅力ある新しい教育は進めてほしい。
統合しない場合、魅力ある学校のイメージは実施されないのか。
学童の送迎が遠くなる場合は車利用も増えると思うので駐車場の整備等対応してくれると安心。
初めての取組に対する先生への支援などはどう考えているか。
統合しても2クラスにはならず、クラスの人数が増えて教員の負担が増えるのではないか。
魅力づくりの内容が先生の負担につながるのでは。先生への丸投げは良くない。
統合後も1クラスとなり、担任の負担増につながるのでは。魅力ある学校づくりは、課題も多く、理想ばかりではなく、色々なことを考えるべき。
合併後、2クラス以上にならなかった場合は担任の負担が増え、学力低下や子どもを見れなくなるのではと心配に思う。
教員の負担が大きすぎる。メンバーも変化していくので、新しい取組の持続は難しい。
教職員は6~10年で異動があるため、新しい取り組みをしても継続はできない。
人数が多くなると、担任の先生が大変だったり、うるさくなったりするから、少人数の方が良い。
現在の先生は忙しく、新しい科目を入れる時間がとれるのか。
本来環境が変わるのは、大きな不安があると思う。不登校になる可能性もある。慣れることができない子についての配慮、子どもの精神面を一番考えてほしい。合併が決まってから子どものことを検討するのではなく、「めざすべき教育環境」と同時に考えていくべきではないか。
小規模校で学んだが、学年関係なく皆仲も良かったし、クラス替えがないとかそれで困ったこともない。ただ中学に入って一気に増えて戸惑いはあった。子どもたちのメンタルケアや、トラブルなど不安がある。
再編後の子どものケアはどのようにするのか。
魅力ある学校づくりに関する御意見 小計 4 4 件

■進め方に関する御意見

御意見の要旨
協議会のメンバーは、年度が替わっても半数程度は継続してほしい。
最終的にどのように統合を決定するか。
誰が何を持って最終的に決めるのか。
PTA 会長、副会長以外にも継続的に会議に参加できる人がいないと不安。特に、園児や未就園児の親を多く入れて話を進められるようにしてほしい。
再編の決め方を明確にするべき。実際に住民の意見がどの程度反映されるのか知りたい。
少人数の意見の前にこども園・小学校の保護者全員の意見をちゃんとアンケートで賛成、反対を聞くべき。反対なら不安内容を把握し、それに対して対策を考える進め方をして欲しい。
再編を本当に決める際は、小学生の保護者、今後入学予定の保護者などにしっかりとアンケートをとってほしい。説明会に参加したメンバーで決まってしまうのは嫌だ。

賛成・反対の意見を聞かずに進めることは疑問。再編ありきで進めているように感じる。説明会で意見を聞く目的が良く理解できなかった。
多数決で決めないのであれば、納得いかないと思う。
賛成反対の意見を住民に聞いてほしい。勝手に市で決めないでほしい。いつ決めるなどのスケジュールを示してほしい
再編したら、どちらの学校になるのかを示してから賛否アンケートを取ってほしい。
スピード感が必要と言うが、住民全員がある程度納得のいく流れにしてほしい。もっと掘り下げた意味のあるアンケートを実施してほしい。
統合ありきのモデル校化ならば統合へのアンケートでまず市民の意見を聞いた方が良くはないか。
再編に向けての進め方が不透明。賛否の議論は必要だと思う。児童と親の考えを優先して決めてほしい。
参加者だけでも賛成か反対かさえ聞かれないのはどうか。全員の意見を聞くべき。
クラス替えの良さもあると思うが、このままが良いという子どもたちの意見も聞いてもらいたい。反対の意見もきちんと聞いてほしい。
通っている子どもたちに意見は聞いていないのに、魅力のある学校はつくれるのか。もっと子どもたちから意見をもらう機会をつくるべき。
子どもも反対しており、子どもの意見も聞くべき。
学校の当事者などの声がないのはおかしいため、参画の機会があった方が良く。
多数決で決める必要はないと思うが、全員が回答できる形で、意見をまとめてほしい。協議会のみで決定されるのは納得できない。学校の場所を踏まえて家を買っている保護者も多く、意見を聞いてもらえないのはおかしい。
どちらに統合するか示してほしい。
小学校が遠くなる場合の不安を聞いてほしい。
モデル校も早く始めないと意味が半減するため、スピード感をもって進めてほしい。クラス替えもできなくなってしまう。五ヶ丘の活性化のためには、統合前でもモデル校化を進めた方が良くと思う。
スピード感がないと、魅力ある学校は結局時代遅れになるのではないか。
R8、R9年に孫が入学するため、いち早く再編を進めてほしい。
統合に時間がかかりすぎる。よりよいまちを作るためにも、早く実現して欲しい。
スピード感をもって再編を進めてほしい。大まかな日程を示してほしい。
もっとスピード感を持って再編を進めて欲しい。新しい学校の内容などは、統合してから考えて良いと思う。
再編の確定までに時間がかかりそう。決まってからも4~5年かかるというのは余りにも先過ぎる。そんなに先の話だと向き合う態度に差がでてしまう。
統合までに4~5年かかるのでは遅いと思う。この間の子どもたちを置き去りにしないでほしい。子どもたち、親が良いと思っているのなら、すぐにでも統合し、そのあと体操服などを決めて行けば良いと思う。
学校再編はとてもよい。統合するかをまず決めてから、内容をしっかり検討していかないと進んでいけないと思う。
結論が5年、10年でないのであれば、統合しなくても良いのではないか。スケジュールをもう少し示してほしい。
統合のタイミングを知りたい。
どんなスピード感で進めようとしているのか分からないため、いつまでに何をするのかなどを示してほしい。
統合アンケートの結果をもっと表面化して欲しい。

2 クラスにならないとか、35 人で 1 クラスとか基本的な知識（情報）が不足、誤解されている方への情報提供が必要だと思う。
統合のメリット・デメリット、検討の経緯などについてもっと詳しい話を知りたい。全町民に周知したうえで、小学校や幼稚園行事とするなどし、多くの人に参加する場で説明してほしい。
協議会開催案内は今後も全戸配布を希望する。
再編ありきにせず、保護者世代はもう少し他の学校の状況を知ったうえで、前向きに子ども達の将来を考えてほしい。
どのような教育、学校をつくるのかを早めにアナウンスしてほしい。
具体的にどうなるのかわからないため、今後また話を聞きたい。
もう少し協議会で何を話したか具体的かつ簡潔に知りたい。
質問の時間が短すぎる。
挙手している全員に質問させてあげるべきだったと思う。
時間がなく質問ができなかった。HP で良いためしっかり回答してもらいたい。
参加する保護者が少なく不安。集まった意味を感じられない。この程度の説明なら事前資料で良いのでは。
進め方に関する御意見 小計 46 件

■再編（統合）に関する御意見

御意見の要旨
自分の子どもだけでなく、10、20年後を考えてもらいたい。クラス編成や性別の偏りの問題などから、できれば統合した方が良いと思う。母校がなくなると感じる方も、2校ともなくなり、新しい学校になるという意識で検討してもらいたい。
統合は子どもの育成に必要で非常に良いと思う。
個人的には五ヶ丘内の小学校を再編して1つにしていくと良いと思う
再編に賛成。できるだけ早く進めてほしい。
まず統合、問題点をつぶしていけば良いと思う。
まずは再編するか、しないかを決めるべきでは。内容はその後でも良い。
学校再編は良いと思う。色々な人と関わる方が将来的に良い。魅力ある学校づくりも、初めは問題があるかもしれないが、やらないよりやった方が良いと思う。
学校をどちらかにするかも重要。残す学校側となくなる子どもとで、トラブルはあると思う。再編するのであれば新しい学校を作る方向でないと難しいと感じる。
新しいことをするなら、新しい学校がないと変わらないと思う。
統合の方法も考えて欲しい。具体的な事例の方が分かりやすい。
今の現状(小規模校)を知っていて子育てのために五ヶ丘に住んでいる人がほとんどであり、統合しても1クラスになるなら統合の必要はないと思う。
五ヶ丘地区は私立幼稚園も2園あり、色々な地域から来ている。新しい学校を2校つくり、通学区域を拡大(豊田市全域)することで、選択できるようにして子どもをあつめる方法はないか。途中で学校が変わることに不安がある声も聞く。通学先が変わらない配慮ができるかなど知りたい。
当面どちらかの学校への合併でやむを得ないが、将来、校舎老朽化で建て替え時には、多目的・運動場の位置で建築してもらえないか。立地条件は良いと思う。
現学校の建物は高齢者が使用できるよう考え、サッカー場跡地に子ども達のために使いやすい学校を新設してはどうか。
小学校、中学校、高校の位置を考えて五ヶ丘への居住を決めた人がいる場合どのように感じるか。
今の距離の近さがよい。

統合された場合に登下校が心配。夏は特に暑いので、日傘登下校以外の対応策を行っている学校があれば教えてほしい。
五ヶ丘は坂が多く、最近はタブレットもランドセルに入れて学校へ行くのに、通学路が長く負担が大きくなると車で登校する人が増えて、保護者の負担も増えるのではないかな。
五ヶ丘東小学校を廃校にする場合、避難所や地域の大人の運動の場として体育館を残してほしい。ビオトープは、数々の賞を受賞している貴重な場として自然とふれあえる場として残してほしい。
廃校後の後避難所としての機能がどうなるのか気になる。
再編（統合）に関する御意見 小計 20 件

■まちづくりに関する御意見

御意見の要旨
統合しても1クラスであり、魅力あるまちづくりを先行して検討しなければいけないと感じる。 ⇒ぜひ五ヶ丘のまちづくりの検討にも参加し、御意見をいただきたい。五ヶ丘の人が増えたりなど活性化につなげていきたい。
子どもを増やす為、若い人が住みやすいまちづくりをしてほしい。
再編のためには、クラス数を増やすために人の誘致が必要ではないかな。
五ヶ丘が今後魅力ある人が集まるまちになると良い。
将来を考えると、魅力あるまちづくりをして、移住者が来るよう推進していけると良い。
サッカー場の廃止理由を説明してほしい。利用している子どもたちにも説明してほしい。
まちづくりに関する御意見 小計 6 件